

①個別データシート

種類 製品

英名 rape oil

整理番号: JP305032

分類 食料品

和名なたね油

・GHG排出量 1.39E+00 kg-CO2e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 食用菜種油の製造

・技術の内容と機能 (菜種)～圧搾・抽出～精製～容器充填

主要原材料: 菜種

主要産出物: 菜種油

・情報源 日本における標準的な製法による菜種油の製造を対象範囲にしている。

Jオイルミルズ: “CSR報告書2008”, p.38, 入手先<<http://www.j-oil.com/company/csr/index.html>>日清オイリオグループ: “CSR報告書2008”, p.69, 入手先<<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/houkoku.shtml>>

日本植物油協会HP、“日本における植物油供給量”, “日本の植物油原料使用量の推移”, “日本のミール供給量および主な用途別利用料の推移”

入手先<<http://www.oil.or.jp/>>

複数のメーカーのHPを参考に原材料量等を推計

・データ作成者コメント

・Jオイルミルズ: “CSR報告書2008”と、日清オイリオグループ: “CSR報告書2008”の2社のデータを調整合算して利用した。

・大豆、菜種、その他(とうもろこし)の比、歩留まりは日本植物油協会HPを参考に、平均的な値に設定して計算。

・エネルギーは、2社合算データを大豆、菜種、その他(とうもろこし)の重量で按分し菜種油の原単位算出。

・容器、精製資材は2社合算データを大豆油、菜種油、その他の油の比で按分し菜種油の原単位算出。

・適用範囲

日本におけるなたね油の平均的な値である。

なたね種子を搾油しさらに油分を抽出したのち、精製したものが菜種油である。

他の油糧種子から搾油、抽出したものは含まない。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含む。容器充填を含む。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含む。

・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、菜種ミールには配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、なたね(菜種)由来のCO2(化石資源由来)、なたね(菜種)由来のN2O、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	海水	海水		7.52E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	購入電力	電力,公共	JP120001	8.90E-02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	上水・工業用水	工業用水道	JP323002	4.37E-03	m3	工業用水で代表させた
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・LNG	燃焼・LNG	JP104005	2.04E-04	kg	
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・A重油	燃焼・A重油	JP111016	1.66E-03	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・C重油	燃焼・C重油	JP111022	2.10E-02	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・都市ガス13A	燃焼・都市ガス13A	JP121002	6.38E-02	Nm3	
資源/原材料	中間フロー	入力	紙類	板紙		1.15E-02	kg	紙パックで代表させた
資源/原材料	中間フロー	入力	プラスチック	その他のプラスチック製容器		1.34E-02	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	菜種	なたね		2.33E+00	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	活性白土	酸性白土		7.30E-03	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	苛性ソーダ	水酸化ナトリウム,液体97%換算・固形有姿	JP310027	2.68E-03	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	スチール	18リットル缶	JP318001	1.78E-02	kg	18L缶と推定
資源/原材料	中間フロー	入力	ガラス瓶	ガラス製食料用・調味料用容器		6.60E-03	kg	
廃棄物処理	中間フロー	入力	産廃処理(汚泥)	産廃処理(汚泥)		5.07E-02	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	処理済水			7.12E-03	m3	冷却用排水含む
製品	中間フロー	出力	菜種ミール	動植物性残さ	*	1.33E+00	kg	アロケーションせず
製品	中間フロー	出力	菜種油	なたね油	JP305032	1.00E+00	kg	